

新型コロナウイルス感染症感染予防のための 参加者（選手、介助者）の留意事項

本留意事項は、第22回くまもと障がい者スポーツ大会の開催にあたり、新型コロナウイルスの感染防止のため、参加者に遵守いただきたい事項を取りまとめたものです。大会参加につきましては以下の内容を必ずご確認ください、ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、競技の特性により必要となる対策は、各競技主管団体等が定めるガイドラインに従い実施するものとし、感染状況に応じたイベント開催制限等については、内閣官房事務連絡等のイベントの開催制限の目安、施設の使用制限等の留意事項に基づき、適正な運用の実施をいたします。

1 大会参加の判断事項について

体調管理チェックシートで大会実施2週間前から大会当日までの間に、
1つでも該当する場合は、参加の見合わせをお願いします。

※「体調管理チェックシート」未提出の場合は、大会へ参加できません。

■下記「体調管理チェックシート」のチェックリスト項目に1つでも✓がある場合は、参加の見合わせをお願いします。また、特別の理由がある場合は事務局へご相談ください。

（1）【健康状態】（体調管理チェックシートによる確認事項）

- ①. 咳、喉の痛み、鼻水など風邪症状がある
- ②. 頭痛がする
- ③. 強いだるさ（倦怠感）がある
- ④. 息苦しさ（呼吸困難）がある
- ⑤. 体が重く感じる、疲れやすい
- ⑥. 味覚や臭覚の異常がある

（2）【行動歴】（体調管理チェックシートによる確認事項）

- ⑦. 参加者本人が新型コロナウイルスに感染した、又は感染した方と濃厚接触があった。
- ⑧. 過去14日以内に「感染が疑われる者」が身近にいた
- ⑨. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触があった。

■団体での参加の際の留意事項

施設・学校等の団体での参加者は、競技会場毎にその代表者が体調管理チェックシートを取りまとめて、大会事務局へ提出すること。その際、事前に体調管理チェックシートに✓がないか、確認しておくこと。

2 会場で遵守事項について

- （1）競技中の競技者以外は、原則としてマスクを着用すること。
- （2）手洗い後に手をふくためのマイタオルを持参すること。
- （3）参加者は、厚生労働省の接触確認アプリ「COCOA」を活用することが望ましい。

- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (5) 他の参加者、主催者役員等との距離（できるだけ2mを目安に（最低 1m）を確保すること。（選手の誘導や介助を行う場合を除く）
- (6) 走る・歩く競技においては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。
- (7) 競技中に、唾や痰を吐くことは極力行わないこと。（＊）
＊やむを得ない場合は、周囲を確認し飛沫の飛散に注意すること。
- (8) 選手、介助者が待ち時間に競技を観覧する場合、感染防止のため、下記による応援は控えること。
 - (ア) 大声で歌を歌う、大声を出しての応援指笛等
 - (イ) メガホン、トランペットなど道具・楽器の使用
 - (ウ) タオル、旗等を振り回す
 - (エ) ハイタッチ、肩組み
- (9) タオルの共用はしないこと
- (10) 昼食等の飲食については、指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を開けて対面を避け、会話は控えめにすること。
- (11) 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと。
- (12) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- (13) その他
 - (ア) マスクの着用が難しい選手・介助者等の方は、大会事務局に申し出る
 - こと。
 - (イ) 手話通訳、または口元を隠すと支障のある場合は、マスクに代えてマウスシールド等を着用すること。

3 その他

- (1) 大会終了後の 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (2) 大会前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること。
- (3) 大会前後での懇親会の開催は控えること。

【参考資料】

内閣官房事務連絡

「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」

公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本パラスポーツ協会

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」